

(5) 令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①知識・技能の習得だけでなく、自ら課題を発見し、他と協働して解決する力などを含む「自ら学ぶ力」を育む学習活動を実践する。</p> <p>②生徒一人ひとりの多様な学習目標や進路希望を踏まえた教育課程を展開する。</p>	<p>①SSHとして行われる探究的な授業を通じて科学的思考力の育成をすすめる。また、対話的な学習などを通じて思考力・表現力を高め、学力の向上をめざす。</p> <p>②の目標を達成するためには、第1学年で幅広い学習が必要になる。その一つの指針として35週総授業数(1120時間)の100%達成を目指す。</p>	<p>①探究の学習のカリキュラムの検討を進める。授業改善のための研究授業や研修を行い、重点スキルを教科ごとに整理して明確化する。</p> <p>②予定総授業数(年間1120時間)の100%達成を目指し、授業確保する。</p>	<p>①重点スキルの共有により、授業力が向上したか。各教科の授業の中で資質・能力を育成する取組が授業評価の結果として表れたか。進学重点エントリー校としての指標は達成できたか。</p> <p>②予定総授業数(年間1120時間)に対する実施授業数の達成率で評価する。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①部活動などを通し、生徒の自主的活動を支援し、人間性や社会性を培い、企画力、行動力の向上を図る。</p> <p>②人間性や社会性の醸成基盤となる、安心安全な学校生活が営めるよう、きめ細かな個別支援体制を構築する。</p>	<p>①委員会活動や部活動を通し、生徒が主体的に活動することができる環境を整える。</p> <p>②生徒情報交換会・「気になる生徒情報シート」を用いた情報共有の手順を継続しつつ、SC・SSW・教育相談コーディネーター・関係職員等が連携を密にした、継続的な支援が可能な仕組みづくりにと取り組む。</p>	<p>①学校行事、委員会活動の企画や部活動の計画を生徒自らに立案させ実行することができるような支援を図る。</p> <p>②SC・SSWの来校日が増えたことによる教育相談業務の変化をふまえ、教育相談業務の役割分担を明確化し、実情に応じた支援を行えるようにする。</p>	<p>①学校行事、委員会活動の企画や部活動の年間計画を生徒自らに立案させ計画に基づいて活動させることができたか。</p> <p>②教育相談体制の改良に取り組みつつ、適切な情報共有や支援を関係者と協働して行うことができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①進路実現に向け、生徒一人ひとりに応じた支援を行うとともに、幅広い教養を持つ大切さや、主体性と人間性の涵養を図る。</p>	<p>①3年間を見通したキャリア教育の実践を図る。</p>	<p>①キャリアガイダンス等の進路行事を通して、3年間で培う力を生徒に意識づける。</p>	<p>①キャリアパスポート等を用いて生徒が自己の成長を年3回以上ふりかえることができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域とともに発展し、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②後援組織との連携を深め、学校教育支援体制の充実と地域の人づくりのための貢献を図る。</p>	<p>①学校の教育活動全般を公開することにより地域からの理解をより深める、</p> <p>②後援組織の協力を基に公開講座の魅力が多く生徒や地域に伝わるようにする。</p>	<p>①ホームページをより一層新しい情報の提供や見やすくなるように改善を図る。また、生徒グループと協力し部活動など定期的な更新を進めることができるようにする。</p> <p>②公開講座の魅力が多く生徒や地域に伝わるように情報発信の方法を工夫する。</p>	<p>①ホームページがより一層新しい情報の提供や見やすくなるように改善を図ることができたか。また、生徒グループと協力し部活動など定期的な更新ができたか。(更新率90%以上)</p> <p>②公開講座の魅力が多く生徒や地域に伝わるように情報発信の方</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
					法を工夫することで参加者が15人以上になったか。
5	学校管理 学校運営	<p>①全職員が参画し、組織的・機動的な学校運営体制を推進する。</p> <p>②生徒・保護者に信頼される学校を維持するために事故不祥事防止に取り組む。</p>	<p>①生徒の学校生活が安定して継続できるように学習、課外活動や進路に対する支援体制の構築をめざす。</p> <p>②さまざまな視点での事故や不祥事防止への意識を職員間で共有することにより、信頼される組織をつくる。</p>	<p>①教員の研修機会を確保して組織的な学校運営を目指す。また、必要に応じた設備の整備などを進める。課外活動や進路に対する支援体制の構築をめざす。</p> <p>②日常から職員間での声掛けにつとめて、気になることを放置しない雰囲気づくりに努める。過去の事例に倣い、事故防止に向けた方策をたてる。</p>	<p>①研修会や情報交換が、昨年度より活発に行えたか。オンラインなどの授業が滞りなく実施できたか。</p> <p>②事故防止の意識啓発を、月に1回以上実施することができたか。事故の防止のための方策が明確に示されたか。</p>